

作品づくりの

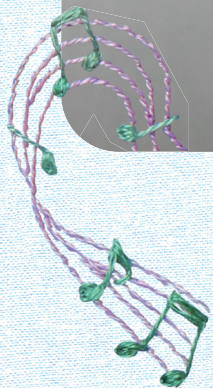
“原点”と“未来”が

この豊中で生まれました。

Yuki Honishi



刺繍作家／刺繍イラストレーター
堀内友紀さん



表紙を飾る、心あたたまる刺繍作品。

豊中で育ち、豊中で活動が続ける

作者・堀内友紀さんにお話を伺いました。

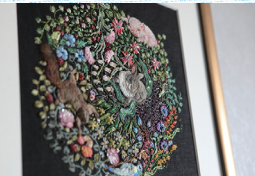


見る人の想像する物語を
大切に作品を描きます。

今回、豊中市の子育てへの思いをテーマに、本誌の表紙ビジュアルを制作してくれた堀内友紀さん。仕事場でもあった自宅の一室に飾られた作品には、どれも動物と植物が描かれ、そのいきいきとした表情や身ぶりは見る人の心楽しくあたたかい世界に誘います。「動物は、動いている瞬間を描くことで躍動感を大切に、毛流れなども忠実に再現することを心がけています。反対に、植物はあえて現実にはないデザインに。動物とは対照的にリアルではない空想のモチーフを組み合わせることで、見た人の想像力がよりふくらむと思うんです。今や幅広いフィールドで活躍する注目の刺繍作家。そんな彼女自身は、作品の世界そのままの純粋でやさしい雰囲気にもまれていました。

夢中で漫画を描いていた日々が、
刺繍作家としての礎です。

小学校2年生のときに豊中市に引っ越してきた堀内さん。「休み時間も放課後も、ずっと漫画を描いている子どもでした。好きな科目は図工や美術で、得意なことをどんどんやりなさい、と両親が与えてくれた自由帳に漫画を描いては、親友と見せ合っていました。それが今につながっているので、両親に感謝していますね」。刺繍作家としての創造性の原点は、子どもの頃の日々にあったのです。「小さい頃にビデオで何度も見ていた動物のアニメを、大人になってから見る機会があったのですが、自分の作品に近いものを感じて。無意識に影響を受けていたんだと驚きました」。10代後半は演劇に打ち込んでいましたが、20歳を迎えるとき、改めて将来について考えたそうです。「演劇は好きでしたが、これは自分の仕事ではないかなと。自分に向いている仕事って何だろうと考えたとき、小さい頃から手先が器用なことを褒めてもらっていたので、手芸をはじめました。次第に雑貨店などで手芸作品を置いてもらえるようになると、なかでも刺繍作品を求められることが多くなりました。「入門書を頼りに自己流にアレンジしたり、独学で作品づくりに挑んでいるうちに、刺繍がかわいくと評価されるようになって、刺繍作品が制作のメインになっていきました」。



オンも、オフも。
豊中で過ごす大切な時間。

堀内さんは今夏、ついに念願のアトリエを持つことになりました。「場所は豊中駅のすぐ近くです。はじめから豊中市だけで探しましたね。家から近いこともありますが、自然も多く、まちの雰囲気も落ち着いていて、じっくりと作品づくりをするのにちょうどいい環境なので、豊中を出ることは考えませんでした。もちろん市外に出かけて刺激を受けることもあります。でもそうやって吸収したものをカタチにしていくのは、やっぱりここなんです」。作品づくり以外の時間は、公園や駅前のパン屋さん、本屋さんなどをめぐっているという堀内さん。「一日の作品づくりを終えて近所の公園を散歩しながら、自然のなかで過ごす時間が好きなんです。気の済むまで噴水の周りを何周も歩いたりしています」。そう言って、子どものような笑顔を見せました。



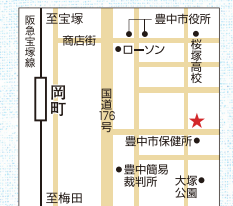
刺繍作家として、
子どもたちの未来のために。

お話を伺うなかで、その感性の豊かさに驚かされたことがあります。最近、偶然見つけた小学校の通信簿を読み返し、先生の優しいコメントに改めて感動して、そのメッセージをテーマにした作品づくりに取り組んでいるというのです。そんな豊かな感性を育み、作家活動の拠点であるこのまちで、堀内さんはどんな未来を描くのでしょうか。「『とよなか 子どもクリエイティブ・ガーデン』をはじめ、豊中市が子どもたちの創造性を育む取り組みを行っていることは、本当に嬉しいことです。私も、もう少し刺繍作家として経験を積んだら、自分が身につけてきたものを子どもたちの未来のために役立てたいと思います」。そのために、作品をどんどん世の中に発表していきたいと、意気込みます。そして、彼女の作品に触れた子どもたちが、また、このまちで創造性を芽吹かせてくれるのではないのでしょうか。「小さいときから作ることが好きで、大人になって自分が作ったものが生活につながり、少しでも社会の役に立っていることが嬉しいし、わたしにとっては奇跡的なことです。これからも長く続けていきたいと思います」。



——堀内友紀さんの個展が開催されます——

- とき
・2017年12月11日(月)から
12月14日(木) 13:00-17:00
・12月15日(金) 13:00-19:00
・12月16日(土)、
12月17日(日) 10:00-17:00
- ところ
日本福音ルーテル豊中教会 会館
(豊中市榎塚4-10-27)



<ワークショップについて>
2017年12月16日(土)に年代別のワークショップを予定しています。
詳しくは、市ホームページまたはチラシ等でご案内いたします。



作家プロフィール

刺繍作家／刺繍イラストレーター。1988年生まれ、豊中市育ち、現在も在住。2008年より手刺繍作品の制作を始め、現在は書籍や広告、企業商品などの刺繍イラストレーション作品を中心に制作。作品展では、刺繍絵や刺繍雑貨を出展。花や草木と共に生きる動物たちの姿を、物語のような世界観でいきいきと表現します。